２００９年５月から始まった釧路高専図書館朗読会も本日の２月１日の１１７回目をもって、私の定年に伴い終了することになりました。その間には数多くの方々が朗読者、聴衆としてご協力してくださいました。これらのことがなければ、決してこれほど続くことはできませんでした。改めてお礼を申し上げます。

また、釧路の実践を知って似たような朗読会を函館、小山、宇部など幾つかの高専が実現させたという話もうかがいました。それは非常に嬉しいことです。

私はこのまま終わらせるつもりでいました。無理に押し付けたくはなかったからです。ところが、これを残念に思った１年の女子学生が行動を起こし、先生を巻き込んでなんとか継続させようと動いているそうです。自然発生的にこのような動きが生まれたことは、私にとって喜びでもあり、可能な限り協力したいと考えています。

この朗読会は一応私の手を離れます。新しい形になっても応援していただけると、私としてはこれ以上の喜びはありません。

令和５年２月１日

小田島本有